

ワンピ世界をぶらり旅

Estrella88

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

気づいたら無人島（つばい所で）目が覚めた主人公
TSしたけど生きていけるのか（棒

目次

——なあ、アンタら、海賊だろう？アンタらも、海賊王…
ひとつなぎの大秘宝
 ワンピースとやらを探してんのかい？

——待て待て、からかつてる訳じゃねえ、話を聞いてくれ
 ——世の海賊は、海賊王になる為にひとつなぎの大秘宝ワンピースを躍起になっ
 て探してるそうだが、この辺りにやこんな噂話がある

——曰く、目には見えないのに辿り着けない島ってな

——どうだい？海賊にとっちゃウマイ話じゃあねえか？

——何でも、その島に行けるのは、死んだヤツの魂だけだつ
 てんだよ

——しかも、とんだ別嬪に会えるときた

——辿り着けねえのにそんなのどうやって知ったんだつ
 てえ話だがな

——宝があるかどうかも分からねえ、そんな別嬪に会えるの
 かも分からねえ

——でもな、嘘つきノールランドってえ昔話に、ないモンをあ
 るって言い通して、嘘つき呼ばわりされ、罰せられたヤツが居るが、誰
 もないって証明できた訳じゃないだろう？

——俺はひとつなぎの大秘宝ワンピースなんて殆どあると分かっているようなモン
 を探すより、ないかもしれねえモンを探して、生きて帰って来たヤ
 ツこそ、真の海賊王に違えねえって、そう思うのさ

——信じるか信じねえかはアンタらの勝手だが、話に付き
 合って貰った変わりにここは一杯、俺に奢らせてくれや

——新世界、とある島

「ここに居ると、退屈しないねえ、…色んな人の魂が見れる」

「平和ってのは嫌いじゃないよ。なんてったってアタイの仕事が少な
 くなるからね。でもま、そうも言ってられない」

「聞いたところ、大航海時代だっけ？よく見る海賊の魂ってのには、それ
 ぞれ野望なりなんなりはあるにしても、自分らの正義を掲げてる」

「アタイは別に、海賊になりたい訳じゃないのに…でも自由度の低そ

うな海軍にもなりたくない。ましてや、誰かのための解放軍なんて、真平御免さ」

「世界を自由に見て回るには、海賊が一番楽だね」

歪んだ鎌を携え、彼女は嗤う

「取り敢えず、暫くは鍛錬かねえ…覇気つてのが使えないと、話にならないらしいしさ」

「悪いけどその間、死神業は…というかこれから、か…廃業だね」

「加えて手頃な金ヅルでもいれば完璧なんだけど、今回は運賃の代わりに情報を貰っちゃったからね、…後で賞金首狩りにでも行くとしようかねえ」

鍛錬パート？そんなものは当然ない。次の話では鍛錬の後から始まることだろう

もしかしたら、既にテキトーな海賊に入ってるかもしれないが——ご都合主義、という言葉は皆さんも知っているだろう？